

「第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画」平成28年度実績見込み

1. 障害者基本計画部分

項 目	実 績	評価及び取組の方向性
<p>啓発広報 ・ 差別解消</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アオーレ長岡にてすこやか・ともしびまつりを開催。25周年記念イベント等を実施し、前年より500人増の17,000人が来場。 ・精神保健福祉講座（こころのバリアをなくそうよ講座・講演会）を継続的に実施し、参加者が増加。 	<p>○すこやか・ともしびまつりは25周年記念イベント等が盛況であり、福祉関係者以外の来場が増加した。今後も継続して、福祉への関心が持てるイベント等を開催する。</p>
<p>療育・教育 の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護・短期入所・日中一時支援事業の利用実績が増加する見込み。 ・障害児通所支援・障害児相談支援給付費等対象者の利用実績が増加する見込み。 	<p>○対象者のニーズに対し、現状では対応できているが、今後もニーズを踏まえたサービス提供体制の整備を推進する。</p>
<p>雇用促進 ・ 就労支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡市役所福祉課内にて、延べ23人に対して270人日の職場体験実習を受入れの見込み。 ・実習先企業30事業所にジョブサポーターを派遣。当該企業等での実習者は28人と前年増の見込み。 	<p>○職場体験実習については、事務作業体験によるステップアップの場を提供できた。事業開始から一定年数が経過するため、施設側のニーズ等を確認しながら、継続実施する。</p> <p>○企業実習は、利用ニーズが高いため、今後も継続実施する。</p>
<p>地域生活 のための 体制充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉送迎サービスの利用者、年間利用回数ともに増加する見込み。 <ul style="list-style-type: none"> - 利用者 H27 3,500人 ⇒ H28 3,772人 - 年間利用回数 H27 3,427人 ⇒ H28 3,701人 - 実施地区 H27 23地区 ⇒ H28 24地区 ・手話奉仕員等602人を派遣し、前年増の見込み。 <ul style="list-style-type: none"> - H27 580人 ⇒ H28 602人 	<p>○活動休止地区等を対象に協力依頼を行い、サービス実施へと繋がった。今後も継続実施する。</p> <p>○関係者による意見交換を実施し、聴覚障害者のニーズに沿った意思疎通支援体制を検討した。今後も継続実施する。</p>

2.障害福祉計画部分

項 目	実 績	評価及び取組の方向性
<p>地域生活の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の高齢化（重度化）などにより、サービス利用が増加する見込み。 <ul style="list-style-type: none"> - 居宅介護 H27 3,876 時間 ⇒ H28 3,909 時間 - 生活介護 H27 11,297 人 ⇒ H28 11,521 人 ・ 地域移行を促進するため、受け皿であるグループホームが増加。 <ul style="list-style-type: none"> - グループホーム数 H27 58か所 ⇒ H28 61か所 - グループホーム利用者 H27 272 人 ⇒ H28 274 人 ・ 多様化する相談ニーズに対応するため、相談支援体制の強化や人材育成を促進。 <ul style="list-style-type: none"> - 障害者基幹相談支援センターの開設 - 委託相談支援センターを1ヶ所増設 ・ 地域で安心して生活するために、夜間や休日の緊急対応や相談などを行う「地域移行のための安心生活支援事業」を継続実施。 <ul style="list-style-type: none"> - 24時間コールセンター 市内2ヶ所 	<ul style="list-style-type: none"> ○ニーズを踏まえた各種サービス提供体制が整備できている。継続実施を行う。 ○グループホームは増加しているが、計画値300人に対して274人に留まっており、今後も整備を推進する。 ○相談支援体制全体の見直しや、相談支援専門員の人材育成ビジョンの検討を行う。 ○地域生活の総合的支援が今後も必要であり、地域バランスを考慮した拠点等の整備を検討する。
<p>福祉施設からの一般就労の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉施設から一般就労への移行実績は、横ばいになる見込み。 <ul style="list-style-type: none"> - H27年度 27人 ⇒ H28年度 26人 ・ 就労移行支援、就労継続支援B型の利用者が増加する見込み。 <ul style="list-style-type: none"> - 就労移行支援 H27 1,937人 ⇒ H28 1,995人 - 就労継続支援B型 H27 11,675人 ⇒ H28 12,098人 	<ul style="list-style-type: none"> ○一般就労への移行は横ばいである。一般就労の促進のため、福祉サービスのあり方を検討するとともに、関係機関との連携強化を推進する。